

ロザイ工業 株式会社

「熱と環境」をテーマに
グループでグローバル展開海外
発注可
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
試作可
小ロット

アルミニウム溶解炉・保持炉

業務内容
熱にかかわる3大要素を
柱に事業を展開

戦後間もない昭和22年に工業炉を主とした工業用設備の設計・施工業者として創業。その後は耐火煉瓦製造へと事業を広げ「工業炉・耐火物・燃焼機器」という熱設備の3大要素を手がける。現在は工業炉と窯業の事業部で、それぞれ開発、設計、製造、施工まで一貫通貫体制で事業を展開している。熱技術を通じて広く社会に貢献することを理念に、地球環境に配慮した研究開発・製造に取り組む。

また、鏡板技術を保有する子会社や中国、タイ、ベトナムの海外拠点を含め、熱設備に留まらず鏡板、化工機、製缶、環境設備、産業機械と包括的な事業をグローバルに展開。さまざまな顧客ニーズに込えている。

強み
さまざまな顧客ニーズに
技術力・提案力に対応

同社のように工業炉、燃焼機器、耐火物という熱設備を自社ですべて手がける企業は世界でも類を見ないという。創業から70年以上、大型から小型まで規模を問わず1,500基を超える工業炉の納入実績を積み重ねることで磨いた技術とノウハウを生かし、炉ごとに異なる厳しい要求にもフルオーダーで応える体制を築いている。各種設計・制御システム開発・燃焼機器開発など、自社内にそれぞれの専門技術者が在籍していることで、顧客のニーズに応じた工業炉の設計や、その炉体に最適な燃焼機器・制御システムへのカスタマイズなど、きめ細かなエンジニアリングへの対応が最大の強みといえる。

人材育成
高い意識で
ものづくりに取り組む

「自分で一から設計してものを作ることに夢

を持つている人には最適な会社だと思う」と小林太郎社長は熱く語る。会社にとって人材が何よりの財産であるという考えのもと、現場教育を基本に置き若手従業員を積極的に海外プラント事業へ参画。実績を積みこでスキルアップを図り、計画的な人材育成に力を注ぐ。設計者は設計のみを行い、現物と接しないという完全分業制の企業もあるが、同社では製作・施工過程まで携わり、担当するプロジェクトの全体像を把握するという。「大変なこと多いが、ものづくりに対する従業員皆の意識が高いことも当社の強みだ」と強調する。

後の展望
独自のIoTシステムで
保守・点検作業を効率化

人材確保が企業にとって大きな課題となる中、同社が納めた設備の保守・点検にかかわる業務を顧客が効率化できるよう、納入後の設備に独自のIoT（モノのインターネット）システムを追加搭載する開発に力を入れている。IoTを活用し、設備の老朽化を検知して予防保全する取り組みで、メンテナンスにおける作業効率と設備の歩留まりの改善を図る。

一方、海外へはすでに拠点を構える中国やタイに加え、インフラ整備が遅れているASEAN（東南アジア諸国連合）地域で同社が強みとする大型設備の受注拡大に狙いを定め、日系企業だけでなく現地企業にも展開していく方針だ。



設計者の高い技術が強み



自社製耐火物は多様な形状に対応

当社の歴史



創業以来、工業炉や燃焼機器、耐火物を中心に、大手企業への納入実績を積み上げることで技術を向上し、ノウハウを蓄積してきました。普段はあまり耳にしない「工業炉」ですが、産業界で使われていない部分はないほど暮らしに欠かせない大切な設備です。これからも幅広い産業界の第一線で活躍したいと考えています。

代表取締役 小林 太郎さん

ISO 9001
ISO 14001

主な事業内容

工業炉、燃焼機器、耐火物の開発から設計、製作、施工、メンテナンス

主な取引先(納入先)

鉄鋼メーカー、非鉄メーカー、エネルギー関連企業

●住所

〒550-0015
大阪市西区
南堀江1-2-14

●TEL 06-6534-3611
●FAX 06-6531-2043
●創業 昭和22年8月
●設立 昭和22年8月
●資本金 9,600万円
●従業員 220名

<http://www.rozai.co.jp/>